大学等における修学の支援に関する法律による 授業料等減免の対象者の認定の継続に関する申請書

年 月 日

お茶の水女子大学長 殿

私は、貴学（貴校）に対し、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の継続を申請します。

申請にあたって、私は以下の事項を確認し、理解しています。

- ◆ この申請書の記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書の記載事項に事実と相違があった場合、認定を取り消され、減免を打ち切られることがあるとともに、在学する学校から減免を受けた金額の支払を求められることがあることを承知しています。
- ◆ 授業料等減免の対象者の認定手続きにおいて、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「機構」という。）を通じ、お茶の水女子大学が機構の保有する私の給付型奨学金に関する情報の送付を受けること、及び機構がお茶の水女子大学の保有する私の授業料等減免等に関する情報の送付を受けることに同意します。
- ◆ 現在、他の学校において、「大学等における修学の支援に関する法律」による授業料等減免を受けておらず、当該授業料等減免の対象者の認定申請中でもありません。

※以下のすべての項目を申請者本人が記入してください。（*を付した項目については、該当者のみ記入すること。）

申請者	フリガナ		入学年月	年 月 入学
	氏名			
	生年月日	(西暦) 年 月 日生		
	現住所	〒 都道府県 市区町村		
	所属学部・学科等		学籍番号	
	学年	昼間・夜間・通信の別	☒ 昼（昼夜開講を含む）	☐ 夜 ☐ 通信
	希望する認定事由	☐ 授業料等負担が困難 ☐ 多子世帯		
	機構の給付型奨学金に関する情報			
奨学生番号を記載ください。 (採用時配布の奨学生証に記載あり)				

※ 申請書に記載された内容及び提出された書類の情報は、授業料等減免の認定及び本学が実施する経済支援のために利用します。また、今後の授業料等減免制度の検討のため、統計資料の作成に利用する場合がありますが、作成に際しては個人が特定できないように処理します。

※ 申請にあたっては、冊子等をよく読み、本制度について理解したうえで行ってください。特に、次のことについて留意してください。

- ①定期的に実施される収入・資産額等の判定により、支援額が変更となったり、支援が停止する場合があること
 - ②定期的に実施される学業成績の判定により、支援が停止・打ち切りとなったり、支援が遡って取り消される（減免が取り消されて授業料の支払いが必要となる）場合があること
- ※警告の区分に該当する学業成績に連続して該当した場合で、かつ2回目の警告の事由がGPAのみに係る場合は、停止の取扱いとなり、その後の学業成績の結果により再申込みが可能となります。
- ③本制度による授業料等減免又は給付型奨学金のいずれか一方でも受ける場合、日本学生支援機構の第一種奨学金（無利子）の利用にあたって当該奨学金の貸与上限額が変更されること
- ※貸与上限額の詳細は日本学生支援機構のホームページや資料に記載しています。